



# 第九たいはむず

No.17 2010.9.23

通刊907 担当 あきら

ホームページ: [www.takasaki9.com](http://www.takasaki9.com) メールアドレス: [takasaki9@myad.jp](mailto:takasaki9@myad.jp)

〒370-0046 高崎市江木町483 TEL/FAX: 027-323-0233(団長渡辺) 携帯電話: 080-5474-2673(事務局長中村)



♪今日は秋分の日。暑さ寒さも彼岸まで。12月の演奏会の準備が始まりました。合宿に行きましょう。

## ◆ 10月16, 17日(土・日): 軽井沢合宿2010 本日一次締切!

日 時: 10月16日(土) 13:30集合~17日(日) 16:00解散(予定)

場 所: 武蔵野音楽大学 軽井沢研修所(申込用紙に地図有り)

参加費: 8,000円 一泊二日3食レッスン付 学割あり6,000円(高校生まで)

締 切: 9月23日(木)まで。※それ以降のキャンセルは原則として返金不可(追加は可)

交 通: 原則各自で集合ですが、相乗り希望も承ります。駐車場は詰め込みです。

※相乗りで、乗せてもらった方は運転手さんに片道500円(往復なら1000円)をお渡しください。

例年、合宿後には指揮者レッスンの日程が示されます。本番同様の緊張したレッスンになってきます。私たちの目標は「暗譜」とか「歌える」ではありません。演奏会で「感動させる」です。

どうしても都合で参加できない方は、過去の大勝さんのCDを聞いたり、練習の録音を聞き返したりと、かなり自分で努力しなければ、合宿へ参加するメンバーの2日間には追いつきません。

## ◆ チラシ・ポスター・チケットができました。チケットは自分たちも販売します。

全国の第九演奏会では、出演する団員もチケットを販売しています。高崎の第九も同じです。チケットが売れずにコンサートを開く人はいません。数百枚が県内プレイガイドへ、団員は一人12枚、事務局も販売します。団員の12枚は買取りではありません。売れなければ12月に返してください。

合唱団はチケットが売れなくても群馬交響楽団へ契約したお金を支払わなければなりません。初めてでも大丈夫、チラシを使い、熱意や群響と合唱団の大切さをお話すれば、団員一人一人がチケットを販売できます。きっと37年目もお客様は来てくれます。この歴史を受け継ぎましょう。

## ◆ 沼田“みどりの第九”男声応援依頼 <映画出演に引き続き、助っ人第2弾>

全国育樹祭イベント『みどりの第九特別演奏会』 男声と女声希望者で行ってきます。

〔9月26日(日) 13:30開場 14:00開演 利根沼田文化会館 <約200人の大合唱>  
指揮: 広上淳一、ソプラノ: 谷原めぐみ、メゾ・ソプラノ: 小林久美子、テノール: 吉田浩之、  
バリトン: 青山貴、管弦楽: 群馬交響楽団、合唱: 沼田第九をうたう会、合唱指導: 島田和昭〕

○応援参加の皆さんへ 9月26日には乗り合わせバス代として3,000円をご負担ください。

別紙『9月5日(日) 沼田“みどりの第九”指揮者レッスン 指南内容』を必ずお読みください。

バスは高崎駅東口のヤマダ電機横を8時30分に出発しますので遅れないでご乗車ください。

## ◆ イベント情報

☆ 9月25日(土)映画『君に届け』(男声出演) コミック累計1200万部突破の『君に届け』が実写映画化

この映画に当団の男声諸氏が、わずかな時間ですが出演し、第九を歌っています。

公開予定・前売券取扱映画館: ユナイテッド・シネマ前橋、109シネマズ高崎、イオンシネマ高崎、コロナワールド太田、イオンシネマ太田、MOVIX 伊勢崎、プレビ劇場 IESAKI

☆ 10月1日(金)「第8回宝徳寺 秋の夕べ」~Autumn Concert~

場所: 宝徳寺(桐生市川内町5-1608) 18:30開演 入場料3000円(抹茶・けんちん汁付き)

曲目: 「千の風になって」「荒城の月」「ピアノソナタ月光」等 永井隆子(ソプラノ)

田村稔(テノール)田村聡子(ピアノ)お問い合わせ・詳細地図: [www.houtokuji.jp/](http://www.houtokuji.jp/)

☆ 10月11日(月・・体育の日) ギターアンサンブル宇宙(ソラ)シド 1stコンサート

高崎シティーギャラリー コアール 13:30開場 14:00開演 無料(入場整理券はバスの中村孝雄さんへ) 高崎中心のアマチュアギターアンサンブル4団体の合同第一回目のコンサートです。中村さんが中心的に頑張っています。特別ゲスト 町田文善さんのソロ演奏もあります。

☆ **10月11日(月・・体育の日) クラリネット・ピアノトリオコンサート**

藤岡市みかぼみらい館大ホール 18:00開場 18:30開演 全席自由3500円 (特別割引券はソプラノ新井幸子さんへ) チャールズ・ディナック、大島文子のクラリネット、大島直子のピアノトリオコンサートです。

☆ **10月11日(月・・体育の日) コンチェルティーノ「心にしみる日本の歌」受付にチラシ有り!**

夢スタジオ(前橋市) 13:30開場 14:00開演 前売り3000円 当日3500円  
2回券(又は2人様)5000円 4回券(又は複数人可)10000円

鷹野 恵(ソプラノ) 諸田広美(メゾ・ソプラノ) ユリヤ・レヴ(ピアノ) (チケットはユリヤ先生まで)

☆ **10月30日(土)「岩宿博物館サロンコンサート」音楽とコーヒーの薫り～世界のカフェ巡り～**

場所:岩宿博物館 19:00開演 入場料:2000円 全席自由

石原 理恵(ソプラノ) 田村 稔(テノール)田村 聡子(ピアノ)他フルート、ピアノ

今年は「枯れ葉」他、シャンソンに挑戦します。お問い合わせ:「サロンコンサート友の会」HP

田村先生より♪趣味のブログ(コーヒー)も始めました <http://ameblo.jp/taminoo/>

◆ **11月以降の団の予定を大まかに。(詳細は追々、お知らせします!)**

\* 12月4日(土)高崎市民クリスマス 出演 (多くの音楽団体がクリスマスの曲を披露します)

(詳細未定ですが、例年15:00くらいに集合)高崎市役所の1階ロビーにて

\* 12月12日(日)生涯学習フェスティバル 出演 (社会教育団体の表彰と活動発表の場です)

(詳細未定ですが、夕方16:00頃の出演)高崎市文化会館大ホールにて

◆ **草津音楽祭(コンサート編②)**

ソプラノ 小林薫子

今回演奏した、第8番は1839～1840年に作曲され、作曲家本人によって「ミサ曲第8番」と番号付けされたミサ曲ハ長調だそうです。歌詞はラテン語のドイツ読みでした。この曲では彼は繰り返し神に願い、賛美と崇拝を繰り返している様子が現れています。神の偉大さに圧倒され、小声で口ごもりながら祈るしかない(サンクトゥスの冒頭)は、ppで歌うため、貧弱になってしまい、歌うことの難しさも感じられました。しかし、その賛美は(ベネディクトゥスにおいて)控え目な祈りから堂々たる崇拝へと高まっていきます。チェルニーの場合は、より大きな聴衆層がミサの言葉をよりよく理解できるようにしたいという考えで作曲をしていたようです。

今回、シューベルトの2曲はCDがあったので、そちらを参考に練習できましたが、チェルニーのミサ曲は日本初演のためかCDが手に入らず、練習はかなり苦労しました。合唱クラスは毎年短い練習期間ではありますが、練習内容が濃く大変充実しています。お陰様で今年もチケットが完売となり、大盛況のうちに終演しました。高崎第九の方も数名来て下さっていて本当に嬉しかったです。ありがとうございました。合唱のコンサートの日の夜はアーチストクラブで合唱クラスの方数名とちょっとした打ち上げをすることもでき、楽しい夜を過ごすことができました。

そして今年は8月20日と8月21日の午後は街角コンサートにも行ってきました。このコンサートは、音楽祭期間中のほぼ毎日(1日2～3回)草津町内のホテル、道の駅、湯畑にあるお店などのたくさんの箇所です。演奏は、アカデミー・アンサンブルONSEN(音泉)で、トランペット2人、トロンボーン2人の合計4人のグループです。曲はクラシックの他、映画やアニメの主題歌などもあり、毎回少しずつ演奏される曲も違います。このコンサートは短い時間ではありますが、親しみやすい曲も演奏されるので毎年盛り上がり、大好評のようです。特に湯畑は観光客でとても賑わっていて、私も少しだけ観光ができてよかったです。

それから、今年は受講期間外に声楽のコンサートがあったのでそちらにも行ってきました。8月25日の16時からコンサートホールで行われた、室内オーケストラ「ペルゴレージ生誕300年/スターバト・マーテル」です。曲は、タイトルにもなっているG. B. ペルゴレージ:スターバト・マーテル、その他、W. A. モーツァルト:ピアノ協奏曲など合計で4曲でした。このコンサートに出演した室内オーケストラ「イ・ソリスティ・ディ・ペルージャ」は古楽器の演奏でも有名なペルージャの音楽院の教授らにより結成され、レパートリーはボッケリーニからイタリア・バロックからベートーヴェン、ヒンデミットやベトラッシと言った現代曲までと幅が広いです。そして、草津音楽祭には2001年より毎年参加されています。このオーケストラは弦楽器のみ(古楽器を含む)で構成されていますが、普通のオーケストラとはまた違った良さもありました。最後の曲のスターバト・マーテルは声楽曲ですが、ソプラノとアルトによる独唱、二重唱からなり、悲しみを痛切に歌い上げる旋律線、対話を交わす2つの独唱、刺すような不協和音の激しさなど、死を間近に感じた作曲家が聖母の悲しみと同化したかのような音楽となっています。この曲の演奏はソプラノ:リン・ドーソンさん、アルト:日野妙果さんでした。この曲は短調の部分が多い曲でしたが、オーケストラの伴奏による美しいメロディー、そして美しい歌声にとっても感動しました。そして、終演後は室内オーケストラのメンバーやそれぞれの曲のソリストによるサイン会があり、プログラムにサインをしていただいたり、一緒に写真を撮ったり、とてもいい思い出になりました。

◆ **ラジオ高崎 小田原朝雄の「くらしっく寄り道回り道」の収録をしてきました。**

今年の第九演奏会や昨年のスロヴェニア公演のお話もさせて頂きました。(現地演奏も放送されます) オンエアは25日(土)10:00～10:54 再放送は26日(日)8:30～9:24です。高崎近在にお住まいの方はラジオ高崎(FM76. 2MHz)で聞いてみてください。【バス 中村孝雄】

